

令和3年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

I 概要

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

令和3年度は前年度に引き続き、全国的な新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の感染拡大を受け、8月から9月の26日間の臨時休園を余儀なくされた。臨時休園以外の期間に予定していた催物は、コロナの感染状況をみながら、中止または感染対策を講じて可能な範囲で実施した。

また、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら、ファミリーパークの呉羽丘陵における拠点として多様な活用を推進する事業を進めてきた。

II 事業報告

1 熱帯鳥類保全事業の推進

富山市が進めている熱帯鳥類保全施設の建設について、展示テーマ「熱帯の鳥類の保全 ～熱帯の鳥類の多様性を知り、人と動物との共存を考える～」を実現するための展示方法などについて市と協議を進めた。

2 ライチョウ基金事業

富山市ファミリーパークでは富山市が環境省から確認を受けた「ライチョウ保護増殖事業計画」のもとで、平成27年より公益社団法人日本動物園水族館協会（以下、JAZA）およびライチョウ飼育園館と協力し、生息域外保全における飼育繁殖技術の確立を目指している。

本事業では、基金運営委員会を開催し、基金の適正管理および基金を活用した事業に関することを審議し、JAZAが実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」などに必要な支援を行った。

また、ライチョウの現状を伝え、市民と保護意識を高めるためライチョウ基金シンポジウムを富山市で開催した。

(1) ライチョウ基金運営委員会について

当基金は当園のみならず、ライチョウ保全に係る取組全般に充てられるという特性をもつものであり、なおかつ多くの企業や個人からの寄附を資金とすることから、7月にライチョウ基金運営委員会を開催し、次の事項を審議し承認された。

なお、開催については、コロナの感染拡大の状況から書面表決とした。

- ① 令和2年度事業報告および収支決算報告
- ② 令和3年度事業計画および収支予算

(2) JAZA が取り組む「ライチョウの飼育繁殖技術の確立に係る支援事業」

JAZA が環境省と連携して取り組む以下のことについて支援した。

- ① 飼育繁殖技術の確立を目指した大学との共同調査研究。
- ② 産卵数の抑制および受精卵率、孵化率、成育率の向上など技術開発
- ③ 野生復帰に資する資質を持つ飼育下集団をつくるための繁殖技術の確立に向けた技術開発。
- ④ ①～③の結果の共有、課題の抽出、今後の計画策定のための会議の開催。

(3) 人材育成事業

ライチョウ飼育園館職員によるライチョウの生態および生息状況調査と生息域内保全におけるケージ保護事業の連携体制の強化を目的とした中央アルプスへの派遣協力を行った。

(4) ライチョウ専用の人工飼料開発・製造事業

ライチョウの飼育繁殖に適した専用の人工飼料の開発・製造を行うための支援を行った。

(5) ライチョウ基金シンポジウム 2022

令和4年2月13日、富山国際会議場にてライチョウ基金シンポジウム「ライチョウの魅力とこれからの保全」を開催し、雷鳥写真家の高橋広平氏の講演をはじめ、環境省、富山県、動物園の取り組みを紹介した。また、富山国際大学附属高校の生徒2名を加えたパネルディスカッションで、ライチョウの保全に関する普及に取り組んだ。

今回の開催においては、コロナの感染拡大防止のため、ユーチューブのライブ配信も行い、より多くの方が視聴できるように努め、会場で143名、ライブ配信で125名、合計268名の参加があった。

また、開催後も視聴できるようファミリーパーク公式ユーチューブチャンネルにアップしており、3月31日までに1,376回の再生回数があった。

3 希少動物保全基金の設立

地球規模の急速な社会の変化に伴い、必要性が増している動物園における種の保存を推進するため、「富山市ファミリーパーク希少動物保全基金」を設立した。

本基金では次の事業を推進する。

- (1) 希少動物の飼育繁殖技術や野生復帰技術の確立に関する基礎研究
- (2) 希少動物の野生下における生息状況や生息環境等に関する調査研究
- (3) 上記(1)と(2)に関する人材育成
- (4) 希少動物の保全の取組を市民レベルに広げるための普及啓発
- (5) その他、生物多様性の保全という目的達成に向けた希少種の保全に寄与すること。

4 公益目的事業

実施事業の状況（総括）

動物展示事業では、91種722点（令和4年3月31日現在）の動物飼育展示を行い、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜家禽の保存活用に努めた。4月には、アミメキリンのメスを搬入し、繁殖の推進に取り組んだ。また、ライチョウ保護増殖事業では当園で初めて自然繁殖に成功した。

地域事業では、「ホテルと夜とファミリーパーク」を予定していた6月は、富山県におけるコロナの感染拡大の警戒レベルが「ステージ2」になったことから、開催を中止した。また、8月から9月にかけて「ステージ3」になり臨時休園となったことから、この期間に予定していた催物は全て中止したが、「ナイトズー」については「ステージ1」となった10月に開催したところ、多くの来園者があり、盛況を得た。

また、呉羽丘陵の魅力を発信することを目的としたフェスタ「悠久の森2021」や、いのちの尊さを普及啓発する「輝け！いのちの集い2021」の開催を予定されていたが、コロナの感染拡大のため、悠久の森フェスタ「悠久の森2021」は中止となり、「輝け！いのちの集い2021」は内容を縮小して開催された。悠久の森事業で連携事業の推進や、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」など、団体・企業との連携した企画を行った。これらを実施することで、ファミリーパークの呉羽丘陵における拠点としての役割の充実を図った。

里山事業では、園内に生息する希少種の生息環境の整備を継続して実施しながら、入園者を対象に園内に生息する野生動物の普及啓発の推進に努めた。

(1) 施設管理事業

① 新型コロナウイルスの感染拡大防止と臨時休園について

コロナの感染拡大防止のため、8月16日に富山県独自の警戒レベルが「ステージ3」に引き上げられたことから8月18日から9月12日までの26日間を臨時休園とした。

園内には新たに入園者用の非接触型手指消毒器やサーモグラフィーの体温感知器を設置し、コロナの感染拡大の防止に努めた。

また入園者どうしや入園者と職員の接触や密集を避けるため、動物とのふれあいを中止とするなど対策を徹底した。

② 入園者の状況について

令和3年度の入園者は267,976人で、前年比4,182人の減少となった。

ゴールデンウィークや秋の行楽シーズンにはコロナの感染拡大は一時収まっていたが、8月中旬から9月中旬までの26日間の感染拡大防止による臨時休園や、2月と3月には積雪および寒い日が続いたことにより、前年度を下回ったものと考えられる。

施設利用状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区 分		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
入 園 者	個人・大人	52,625人	26,312,500円	54,464人	27,232,000円	59,418人	29,709,000円
	70歳以上	431人	107,750円	455人	113,750円	438人	109,500円
	団体・大人	8,616人	3,446,400円	5,283人	2,113,200円	7,528人	3,011,200円
	共通パスポート	18,818人		17,687人		3,550人	
	有料計	80,490人	29,866,650円	77,889人	29,458,950円	70,934人	32,829,700円
	無料計	102,163人		103,963人		174,120人	
	※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者	18,080人 組数(5,949組)		19,835人 組数(6,516組)		19,322人 組数(6,325組)	
	計	182,653人		181,852人		245,054人	
	無料エリア計	85,323人		90,306人		103,047人	
	小計	267,976人	29,866,650円	272,158人	29,458,950円	348,101人	32,829,700円
遊 具 使 用 者	子供列車	15,458人	3,091,600円	12,496人	2,499,200円	16,076人	3,215,200円
	アニマルコースター	13,069人	2,613,800円	14,419人	2,883,800円	17,448人	3,489,600円
	メリーゴーランド	15,671人	3,134,200円	13,358人	2,671,600円	16,331人	3,266,200円
	パラトルーパー	22,921人	4,584,200円	17,103人	3,420,600円	23,623人	4,724,600円
	キャラクターカー	12,374人	2,474,800円	11,805人	2,361,000円	14,279人	2,855,800円
	ボート	4,746人	1,898,400円	3,993人	1,597,200円	4,911人	1,964,400円
	メロディーベット	707人	141,400円	959人	191,800円	1,001人	200,200円
	電気周遊車	7,966人	796,600円	8,657人	865,700円	11,224人	1,122,400円
	遊具使用(有料)計	92,912人	18,735,000円	82,790人	16,490,900円	104,893人	20,838,400円
	遊具使用(無料)計	2,730人		2,098人		3,283人	
小計	95,642人	18,735,000円	84,888人	16,490,900円	108,176人	20,838,400円	
合 計		48,601,650円		45,949,850円		53,668,100円	

(2) 動物管理事業

生物の多様性や人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることを目的に、動物の展示および教育啓発に努め、日本産動物及び外国産希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜の保存活用に努めた。

また、前年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に参画し、ライチョウの飼育繁殖技術の向上に努めた。

動物管理事業では、91種 722点（令和4年3月31日現在）の動物飼育展示を行い、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜家禽の保存活用に努めた。4月には、アミメキリンのメスを搬入し、繁殖の推進に取り組んだ。

飼育動物種数および点数（令和4年3月31日現在）

		種数点数
飼育動物の種数(令和4年3月31日現在)		91種 722点
内 訳	哺乳類	42種 323点
	鳥類	33種 336点
	爬虫類	7種 18点
	両生類	3種 18点
	魚類	6種 27点
	甲殻類	0種 0点
増加動物の種数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）		27種 96点
減少動物の種数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）		64種 177点
（公財）日本動物園水族館協会 血統登録動物の種数		22種 82点

① 飼育展示事業

展示の充実および繁殖を推進するためにアミメキリンのメスの他、ニホンカモシカ（オス1頭）やニホンアナグマ（メス1頭）などを国内の動物園から搬入した。

さらに、富山市が進める熱帯鳥類保全施設の整備について富山市と連携し、令和4年度の公開（予定）に向けて検討を進めるとともに、展示テーマ「熱帯の鳥類の保全 ～熱帯の鳥類の多様性を知り、人と動物との共存を考える～」を実現するため展示鳥類について導入計画を策定し、導入を開始した。

その他、繁殖したホンダタヌキやムササビの親子展示を行い、いのちの大切さを伝える展示に取り組んだ。

② 繁殖研究事業

4月に搬入したアミメキリンで繁殖を推進した。オオタカやトウホクノウサギ、ムササビ、ホンダタヌキ、オシドリなどの日本産動物の継続的な繁殖に努めた。また、天然記念物のシラコバトや、国際希少野生動物であるグレビーシマウマ、フンボルトペンギンなどの繁殖研究を推進した。

ライチョウ保護増殖事業では、親鳥による抱卵および育雛による繁殖方法（自然繁殖）に取り組み、当園では初めて4羽のヒナが無事に成育した。

繁殖を目的とした貸借契約動物

	動物名
借り受け動物	<p>【哺乳類】 コモンリスザル(2)・ワオキツネザル(1)・アムールトラ(1) アムールヤマネコ(1)・シセンレッサーパンダ(3) ユーラシアカワウソ(2)・アミメキリン(2)・グレビーシマウマ(1) ニホンカモシカ(3)・シンリンオオカミ(2)・ミーアキャット(1) ヒツジ(18)・チンチラ(1)・パルマワラビー(1)</p> <p>【鳥類】 ルリコンゴウインコ(2)・アカコンゴウインコ(1)・ミゾゴイ(1) メンフクロウ(1)・カンムリシロムク(4)・フンボルトペンギン(2)</p> <p style="text-align: right;">20種50点</p>
借り受け動物 (令和4年度 搬入動物)	<p>【哺乳類】 ニホンカモシカ(2)</p> <p>【鳥類】 ソデクロバト(6)・ヒワコンゴウインコ(1)・ヨウム(1)</p> <p style="text-align: right;">4種10点</p>
貸し出し動物	<p>【哺乳類】 ニホンカモシカ(1)・グレビーシマウマ(2)・シンリンオオカミ(2) フンボルトペンギン(1)・ミーアキャット(1)・アミメキリン(1)</p> <p style="text-align: right;">6種8点</p>

主な繁殖動物

動物名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
シラコバト	4	4	自然	4/1(2)、12/20、2/1
ムササビ	1	1	自然	4/18
ホンドザル	2	1	自然	5/1、7/31
ホンドタヌキ	5	5	自然	5/9(5)
オシドリ	2	0	自然	5/14、6/18
メンフクロウ	2	2	自然	5/31、6/3
アカハシハジロ	1	0	自然	6/1
オオタカ	1	0	自然	6/9
トウホクノウサギ	2	2	自然	7/4、7/4
ニホンライチョウ	6	5	自然	7/13(5)、7/14
モルモット	4	4	自然	9/1(4)
シバヤギ	1	1	自然	10/3
オリイオオコウモリ	3	3	自然	1/6、2/4、3/21
合計	34	28		

③ 教育普及事業

コロナの感染拡大防止のため、動物とのふれあいや一部の催物などは中止した。定例ガイドの「希少どうぶつを知ろう！」の他、動物の食事風景を見ることができる「ごっくんタイム」は感染対策を取りながら実施した。コロナの感染者数が減少したことを受け、9月からは動物のエサやり体験ができる「動物たちにゴハンをあげよう」をコロナの感染対策をとりながら再開した。また、子供動物園では「動物なるほど教室」や、小中学校の総合的な学習や大学の課外実習などの受け入れもコロナの感染対策を講じながら再開した。

また、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、リモート会議などで発表した他、市民大学特別講演でライチョウ保護増殖事業について紹介した。

2月にはライチョウ基金シンポジウムを開催し、ライチョウの保全に関する普及啓発に取り組んだ。

事業名	実施回数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう	52回	1,320名
オオカミにお肉をあげよう	52回	1,237名
希少どうぶつを知ろう！	11日	206名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー		中止
動物なるほど教室	7日	443名
親子クラフト体験	3回	35名
③ ごっくんタイム	2,605回	14,381名
④ 催し物事業		
a.開園記念日イベント ・ウォークラリー「ファミパでおハナ!?見ラリー」	25日	4,486名
b.飼育の日 ・動物園の台所探検ガイド ・飼育員のランチタイムトーク	4回 2回	51名 18名
c.ゴールデンウィーク ・ヒツジの毛刈り	2日	360名
d.国際生物多様性の日イベント ・国際生物多様性ガイド	16回	208名

e.世界カワウソの日イベント ・キーパートーク	1回	30名
f.オウム・インコの日イベント ・キーパートーク ・パネル展「インコギャラリー」	4回 —	26名 —
g.ドリームナイト・アット・ズー ・動物解説	1日	496名
h.夏休みイベント ・なんでも飼育員に聞いちゃおう (質問受付) (回答展示) ・なんでも飼育員に聞いちゃおうガイド ・ひえひえおやつタイム	51日 45日 8回 8回	355名 — 57名 128名
i.国際レッサーパンダデーイベント ・パネル展「知ってる？レッサーパンダのひみつ」	14日	—
j.ツシマヤマネコの日イベント ・パネル展「知って守ろう！ツシマヤマネコ」 ・スペシャルごっくんタイム	30日 9回	— 130名
k.ナイトズー（10月） 夜間開園（21:00まで） ・動物スポットガイド ・夜のゆらゆら乗馬	1日 1日	1,220名 25名
l.地球温暖化スマホクイズラリー (富山市環境政策課に協力)	9日	274名
m.文化の日イベント ・なきごえオノマトペ～世界の言葉でくらべてみよう～	28日	—
n.「カピバラの湯イベント」 ・動物ガイド「カピバラと楽しむ風物詩」 ～冬至のゆず湯～ ～春の七草～ ～お風呂の日～	2回 2回 2回	22名 45名 19名
o.冬季開園イベント ・動物ガイド「ウシたちにとっておきクリスマス プレゼント」 干支展イベント（～2/28） ・干支記念！ファミリーパーク寅神社 ・干支の動物ガイド「トラのもよりのヒミツ」 バレンタインイベント ・バレンタイン記念！動物たちの恋模様	4回 51日 9回 6回	34名 — 84名 120名

p.開園記念日イベント ・クイズラリー「動物たちの新生活応援!!」 ・パネル展「動物たちの新生活応援!!」	17日	5,050名
	17日	—
q.特別展ライチョウ基金シンポジウム 2022 「ライチョウの魅力とこれからの保全」 ・高橋広平ライチョウ写真展 ・シンポジウム上映 ・動物ガイド「ニホンライチョウの自然繁殖の成功について」	17日	—
	17日	—
	3回	85名
⑤ ファミリーパーク動物友の会 例会	4回	121名
⑥ 教育事業（実習・研修）		
a.小学校・中学校 校外学習（総合的な学習など）	14校	596名
b.大学実習 ・富山大学理学部実習 ・富山国際大学こども育成科学部	1校	12名
	1校	82名
c.問題を抱える子供らの自立支援事業 ・「園内ガイド」	1団体	15名
d.社会人 ・「園内解説」	1団体	15名
⑦ 第37回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール ・応募 ・表彰式（特選） ・入賞作品展示	68日	453名
	1日	36名
	73日	—
⑧ 第46回動物愛護に関する標語の募集 ・応募 ・入賞作品掲示	31日	52名
	7日	—
⑨ 協賛・共催・協力事業		
a.地域連携事業 古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」	2日	62名
b.外部への講師派遣 ・倉敷芸術科学大学 ・市民大学特別講義 ・海王丸パーク野鳥講演会	1日	26名
	1日	50名
	1日	30名

<p>c.研究協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京農業大学 「カモシカ眼下腺分泌液の成分について」 ・富山県立大学 「生態調査の元となる動物の鳴き声データの収録」 ・関東学院大学 「イタチ科動物の味覚受容に関する研究」 ・岩手大学 「動物園動物の微胞子虫に関する疫学調査」 ・国立遺伝学研究所 「ニホンノウサギの遺伝子解析に関する研究」 		
<p>⑩ ライチョウ基金事業 ライチョウ基金シンポジウム 2022 「ライチョウの魅力とこれからの保全」</p>	<p>1 日</p>	<p>268 名</p>

④ 在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努めた。また、在来馬を活用した乗馬やエサやり体験は、コロナの感染拡大防止対策を講じながら実施した。

⑤ ライチョウ保護増殖事業

今年度も、令和元年から引き続き母鳥の抱卵・育雛による繁殖方法（自然繁殖）に取り組み、6羽のヒナが孵化し、当園で初めて4羽（1羽死亡、1羽人工育雛に切り替え）の自然繁殖に成功した。また、野生復帰に資する資質を有する個体の創出に向け、野生ライチョウの腸内細菌叢の再現に向けた取り組みを行った。

また、令和4年度の繁殖に向けて他の動物園との個体の移管を行い、飼育個体数は、オス10羽、メス13羽の計23羽となった。

ニホンライチョウの展示を通して、その生息環境の現状と保全の大切さを伝えるため普及・啓発を行った。

⑥ ホクリクサンショウウオ保護増殖事業

呉羽丘陵産の個体の生息域外保全に取り組むため、新規個体を導入し、飼育下での繁殖技術の確立に向けた研究を開始した。

(3) 地域事業

① くれは悠久の森事業

「悠久の森実行委員会」に事務局として関わり、地域施設や住民と連携して取り組んでいる。

悠久の森フェスタ 2021 はコロナの感染拡大防止のため中止となった。
 連携事業についてはコロナの感染対策をとって、可能なものは実施した。

事業名	実施日数	参加者数	
① 悠久の森実行委員会（役員会含む）	2日	23名	
② 悠久の森コーディネーター会	2日	21名	
③ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業	出前授業	10日	331名
	生息地整備	1日	7名
	サンショウウオの里親	125日	63名
	生息地調査	3日	17名
合計	143日	462名	

②輝け！いのちの集い事業

例年開催している「輝け！いのち集い」はコロナの感染拡大防止のため、ステージやブースイベント等を中止し、いのちに関する作品展や過去のチラシ展示を行うなど内容を変更しての開催となった。

事業名	実施日数	参加者数
① 輝けいのち協議会	4日	43名
② 会長・副会長会議	2日	14名
③ 参加団体意見交換会	1日	13名
④ 輝け！いのちの集い 2021 「いのちってなーに ～伝えよう いのちの大切さ～」 内容を変更して実施（展示のみ）	39日	—
合計	46日	70名

③地域連携事業

毎年地域の関係施設や団体と連携して実施していた多くの事業は、コロナの感染拡大防止のため開催を見合わせる事となった。

以下の3件の事業についてはコロナの感染拡大防止対策をとって実施した。

事業名	実施日数	参加者数
① 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	2日	62名
② アースディとやま 2021 (アースディとやま実行委員会)	1日	リモート 開催
③ とやま環境フェア	108日	Web
合計	111日	62名

④ 呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業

富山市が呉羽丘陵で進めている「人と自然との共生&再生可能エネルギー」呉羽丘陵フィールドミュージアム形成に参画し、富山大学と共同で冒険教育プログラムを作成するとともに、地域から出る梨剪定枝ペレットを熱源利用するペレットストーブの燃焼実験を行った。また、環境プログラムの開発と実践を目的に、富山市立五福小学校5年生による自然散策、竹林整備体験を実施した。

富山県立大学とは、夜間開園において光の点滅で参加者が動物の走行速度を体験できる装置により体験学習を実施した。

事業名	実施内容
1. 製炭事業	梨剪定枝ペレットの熱源利用
2. 環境教育事業	動物・里山教育等環境教育プログラムの開発

⑤ ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動については、コロナの感染拡大防止のため中止としたが、感染状況をみながら可能なものについては誘致に努めるとともにその活動の支援を行った。

団体名	活動名	実施日数	参加者数
① 市民いきもの メイト	総会・運営委員会等	22日	113名
	里山整備活動	7日	37名
	里山教室	4日	86名
② 呉羽丘陵にホテル を呼ぶ会	会員によるホテル観察会	1日	106名
	富山市立古沢小学校3.4年生による カワニナ採集・放流	2日	20名
	生息地整備	1日	3名
③ 富山県ホテルの会	総会	1日	43名
	執行部会・役員会等	3日	19名
	研修会	1日	30名
	ヒメホテル調査	9日	11名
④ きんたろう倶楽部	さとやまの木道整備	13日	66名
	ハーブ坂整備	7日	14名
	幼竹伐採	3日	7名
	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1日	96名
	竹林整備準備・片付け	9日	42名
	きんたろうの森・わくわくの森整備	10日	43名
	総会・記念講演会	1日	36名
	くれはNAVI養成講座	2日	22名

⑤ 呉羽丘陵フットパス推進会議	呉羽丘陵フットパス月いちウォーク	9日	1,904名
	フットパス整備	10日	100名
⑥ 古沢地区ボランティア	植樹地草刈	3日	15名
⑦ 富山ライオンズクラブ 1R2Z 合同アクティビティ	竹林整備	1日	30名
⑧ ネットとやまボランティア活動	飼育体験	1日	5名
⑨ 富山雷鳥ライオンズクラブ	からくり時計の感謝状贈呈式	1日	29名
合 計		122日	2,877名

⑥ 活性化事業

コロナの感染拡大の状況をみながら、感染防止対策を徹底し、可能なものについて催物を実施した。

事 業 名		実施日数	参加者数
① パステルアート	母の日・父の日・クリスマスカード作り・バレンタインカード作り	4日	66名
② 開園記念日イベント	開園記念日缶バッジプレゼント	1日	180名
	里ノ助の一日園長	1日	200名
③ GW イベント	クイズラリー「キリンのヒ・ミ・ツ」	8日	2,994名
	里ノ助のきまぐれ散歩	6日	274名
④ 夏休みイベント	クロスワードパズル「里ノ助に挑戦」	27日	1,733名
⑤ ナイトズー(10月)		1日	3,310名
	光の動物とかけっこ		400名
⑥ 秋イベント	ハロウィンステージ	9日	—
	ハロウィンイベント「動物マスクを作ろう」	4日	43名
	里ノ助とハロウィン撮影	4日	440名
	秋を楽しもう	26日	—
⑦ クリスマスイベント	クリスマスステージ	25日	—
⑧ 冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	76日	549名
	干支の缶バッジプレゼント	27日	791名
⑨ 春開園イベント	里ノ助のお出迎え	1日	35名
	カレンダープレゼント	7日	280名
⑩ 里ノ助イベント	里ノ助のチョコチョコじゃんけん	3日	390名
	里ノ助とあそぼう	11日	194名
合 計		241日	11,879名

⑦広報事業

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内など情報の発信に努めた。

イベントに関するリーフレットを市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布し、ファミリーパークの事業をより多くの方に周知することに努めた。また、毎週ラジオ出演するなど雑誌や新聞、テレビ等の媒体での広報に努めた。

インターネットを用いた広報としては、既存のホームページ、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブに加え、インスタグラムの運用を開始した。

ファミリーパークのホームページのアクセス数は、前年より多い 899,363 件（前年度同時期 837,598 件）となった。また、ツイッターでは 3,827,231 回の閲覧があり、ユーチューブでは、31,212 回の再生回数があった。

このほか、富山市広報課を通じて年間 89 件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

また、新年度からの運用に向けて、ホームページをスマートフォン対応デザインにリニューアルするための準備を進めた。

主な報道リリース

期 日	タ イ ト ル
4 月 2 日	アミメキリンの搬入について
4 月 13 日	第 37 回富山市ファミリーパーク動物写生コンクールについて
5 月 6 日	「暗視カメラが見た夜の野生動物展」について
5 月 21 日	「世界カワウソの日」のイベントについて
6 月 24 日	夏休み企画「なんでも飼育員に聞いちゃおう！」質問募集について
7 月 13 日	二ホンライチョウの孵化について
7 月 20 日	雷鳥サブレの販売について
7 月 21 日	ホンダタヌキの親子の展示について
8 月 17 日	臨時休園について
9 月 11 日	営業再開について
10 月 12 日	二ホンライチョウ自然繁殖の成功について
11 月 1 日	カピバラ露天風呂の開始について
12 月 3 日	企画展示「干支記念！ファミリーパーク寅神社」について
12 月 20 日	ライチョウ基金シンポジウム 2022 の開催について
1 月 5 日	干支イベントについて
2 月 2 日	動物ガイド「カピバラと楽しむ風物詩」について
3 月 9 日	富山市ファミリーパークの春の開園について

(4) 里山事業

① 里山活用事業

里山の見どころをホームページや園内情報掲示板で発信するとともに、園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころをテーマとした「自然だより」や「里山情報」を園内掲示し、情報発信を充実した。また、今年度は夜間撮影装置で撮影した園内の野生動物の写真の展示コーナーを新設し、里山活用事業を推進した。

また、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」の実施を通して、呉羽丘陵フットパスの利用を推進するとともに、ファミリーパークの呉羽丘陵の活動拠点としての機能の強化に努めた。

事業名	展示方法	参加者数
① 暗視カメラが見た夜の野生動物展	4月26日より常時設置	—
② ムササビ村 観察モニター	常設展示	—
③ 野鳥観察舎 情報展示	常設展示	—
④ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
⑤ 園内情報掲示板「里山情報」	常設展示	—
合計		—

② 里山保全管理事業

ホタルのおやどや湿地帯の管理を行ない、ホタルやカエルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の確保・維持に努めた。

園内・六泉池については、東老田自治会と協力して池干しを行うことで、ため池の生態系の保全に努めた。

③ 里山整備研究事業

自然散策路の整備を行ったほか、二次林に侵出したモウソウチクの伐採やコナラ植樹地林内の自然植生の保護と復元に努めた。

5 収益事業等

食堂においては、テーブルの仕切り板を設置し、間隔を開けたテーブルの配置等、コロナの感染拡大防止対策を講じながら、営業に努めた。

7月にはオリジナル商品の「雷鳥サブレ」の販売を開始し、売り上げの一部をライチョウ基金に繰り入れる仕組みをつくった。

また、園内で収穫したタケノコや栗の販売を行ったほか、イベント等と連携した企画を立案し、販売促進に努めた。

(1) 売店・食堂等

事業名	実施日数	数
① 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	19日	2,229個
② 「雷鳥サブレ」の販売	—	1,367枚
③ ナイトズー「牛乳パックでランタンをつくろう」	1日	102名
④ ツシマヤマネコの日「特設コーナー」	30日	—
⑤ 国際レッサーパンダデー「特設コーナー」	14日	—
⑥ 干支展 寅グッズコーナー	51日	—
⑦ 園内で採れた、タケノコ販売	14日	227袋
⑧ 園内で調理した、タケノコご飯	16日	140個
⑨ 園内で収穫した、栗販売	17日	78袋
⑩ 園内で調理した、栗ご飯	28日	118個

(2) ホースライド事業

事業名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曾馬）	147日	2,238名
障害者乗馬会 「障がいのある方のための乗馬会」	2日	6名
② ナイト乗馬（10月）	1日	25名
③ エサやり体験	296日	44,651名

売店・食堂等売上状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

施設名		令和3年度	令和2年度	令和元年度	床面積・卓数・脚数
販売収入		24,957,882円	22,521,966円	32,059,103円	
売店	きりん食堂	2,692,233円	3,257,525円	5,082,573円	109.87㎡
	かふえムー	6,928,613円	5,873,439円	5,922,720円	55.00㎡
	2店計	9,620,846円	9,130,964円	11,005,293円	164.87㎡
食堂	きりん食堂	1,669,570円	1,513,130円	3,067,330円	309.13㎡ 11卓 26脚
	かふえムー	5,863,240円	5,706,450円	6,738,430円	250.00㎡ 17卓 36脚
	2店計	7,532,810円	7,219,580円	9,805,760円	559.13㎡ 27卓 62脚
悠々ワゴン		445,700円	311,600円	579,800円	
出店等		1,066,126円	903,152円	4,675,200円	
ホースライド		6,292,400円	4,956,670円	5,993,050円	ゆらゆら乗馬、人参販売
その他の収入		3,946,066円	4,591,825円	6,890,795円	
ベビーカー使用料		394,500円	344,200円	261,800円	60台
バーベキュー使用料		148,700円	531,000円	2,498,200円	ガス:10人掛×1卓・8人掛×9卓 炭:10人掛×5卓・4人掛×6卓 計 156脚
自動販売機手数料		2,111,580円	2,045,588円	2,262,480円	
その他		1,291,286円	1,671,037円	1,868,315円	移動販売手数料、バッテリーカー等
事業収入		28,903,948円	27,113,791円	38,949,898円	
雑収入		318,600円	2,057,702円	34,001円	
合計		29,222,548円	29,171,493円	38,983,899円	